



# 御蔵島村 議会だより

63号



※令和7年 出初式の様子

～ 掲 載 記 事 ～

- P.2 議長の卓論
- P.3 令和6年第4回定例会 議決事項
- P.4 議員一般質問
- P.12 活動報告

# 議長卓論

令和7年1月24日

御蔵島村議会議長 栗本 道雄

寒中お見舞い申し上げます。本年が御蔵島を含む日本や世界にとって良い1年になることを願います。

1月も後半、島の冬は西寄りの季節風が強く吹きます。昨年暮れから今年の初めは特に定期船の就航率が例年よりも良くなかったですが、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

12月13日、令和6年第4回御蔵島村議会定例会が開かれ、提出された議案等の審議が終了して閉会となりました。

12月19日には神津島主催による神津島村と都庁幹部職員に利島村、御蔵島村で交流会が開かれ出席して来ました。伊豆諸島・小笠原諸島は東京都の支援なくては成り立ちません。今後も引き続き様々な分野での協力をお願いしてきました。また、利島村の新人議員5名にも挨拶が出来、今後も小離島同士の情報交換や、一致した問題解決に向けて協力して行きたいと思えます。

12月22日は、おがさわら丸のトラブルにより開催が心配された小笠原大忘年会在竹芝栈橋で予定通り開かれ出席させていただきました。おがさわら丸のトラブルは他人事ではない状況で、ここでもわれわれ御蔵島にとって1つの問題共有が出来ました。また、お忍びではありますが皇族の方もご出席されておられました。

12月24日は離島振興対策協議会、全国離島振興協議会による令和7年度離島関係予算対策本部会議に徳山村長と参加して来ました。会議後は衆参国会議員の方々へ年末の挨拶を兼ねて本年のお礼と、令和7年の離島振興も引き続きお願いすることを数班に分かれて実施しました。丁度臨時国会の最終日に当たり、補正予算も成立するタイミングでまだ正式に成立していない補正予算もありましたが、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金は補正予算で5.4億円などの説明がありました。この予算は御蔵島ではヘリコプターの運賃補助に充てられる重要な予算です。

今年は6月に都議会議員選挙、夏に参議院議員選挙が実施予定です。政治は遠い話と考えず、1人1人が良く考えて投票しましょう。

皆様のご意見を是非、議会や議員にお寄せください。

# 令和6年第4回定例会 議決事項

令和6年第4回定例村議会が12月13日(金)に開会され、承認2件、議案10件を審議しました。

議案番号	議案名	議決結果	審議の賛否				
			栗本真一	砂原奈美子	黒田正道	広瀬旭治	西川理恵
承認 第 1 号	専決処分について(御蔵島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	原案可決	○	○	○	○	○
承認 第 2 号	専決処分について(御蔵島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 1 号	東京都島嶼町村一部事務組合の共同処理する事務の変更及び東京都島嶼町村一部事務組合同規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 2 号	御蔵島村自然体験観光交流宿泊施設設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 3 号	令和6年度御蔵島村一般会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	×	○
議案 第 4 号	令和6年度御蔵島村航路事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 5 号	令和6年度御蔵島村産業センター運営事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	×	○
議案 第 6 号	令和6年度御蔵島村観光宿泊施設運営事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 7 号	令和6年度御蔵島村簡易水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 8 号	令和6年度御蔵島村国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 9 号	令和6年度御蔵島村介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
議案 第 10 号	令和6年度御蔵島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○

※表中の記号：○…賛成 ×…反対

# 定例会 一般質問内容

◆栗本 真一 議員

## ◎御蔵荘でのお弁当提供について

【質問】 9月頃から開始されている御蔵荘でのお弁当事業の概要を。

【回答】副村長

外食サービスの選択肢の拡充および島内の生活基盤の充実や産業振興を目的として、週1回の施行を12月まで実施している。課題整理等の検討段階であり、以降の継続の目途はなし。

【質問】 試行期間中の歳入歳出は。

【回答】副村長

独立採算としているため、サステナブル予算を使用し、歳入は無い。施設使用料、光熱費等については試行期間ということで行政財産の使用許可を出している。

## ◎サステナブル補助金の施行状況について

【質問】 黄楊桑の特産品補助金についてのその後の進捗は。

【回答】副村長

1件交付決定し、ウッズスピーカーの試作品が完成したところ。現在販売経路の拡充を検討する等で村も協力・連携している。

【質問】 そのほかの補助金について。

【回答】副村長

お弁当事業のほか、酒づくりについても1件交付決定済で、年度末に向け試作品の製造と販路確立のための実証検討を行っている。自然生態保護についても、令和7年1月から野猫保護に関する取り組みを実施し、島外にもPRする予定。健康増進プロジェクトについては、開発総合センター内に施設整備し、令和7年3月以降に社協と連携した取り組みを展開する予定となっている。

## ◎黄楊桑産業の持続可能性について

【質問】 『黄楊桑産業の現状分析と持続可能性への提案』について概要を。

【回答】産業課長

令和5年度に東京都の宝島事業にて制作したもの。村は資料提供、産業センターの公開といった形で協力した。

【質問】 中身は将来に向けてよく検討されている。一般への公開とこれを受けての村としての動きは。

【回答】産業課長

村の事業ではないので公開については不明。

【回答】村長

これから中身を精査し、予算編成・事業計画の作成に活かしていきたい。

## ◎住宅補助の是非

【質問】 上限2万円の住宅補助が始まって1年が経つが、来年度に向け内容精査し事業の見直しを依頼したい。問題は、インフレ対策という目的でありながら、持ち家世帯に恩恵のない不公平感、および低所得者層に影響のない高所得者優遇措置である点。

【回答】村長

要綱としては令和8年3月末までなので残り1年間この形で続けたい。現状、持ち家世帯からクレームや要望がないので見直しは時期尚早。

◆砂原 奈美子 議員

## ◎社会的介護について

【質問】 社協もサービスを行っているが、村内では血縁関係とコミュニティーでケアを担っている部分が相変わらず多くある。ちょっとごみ出しをしてほしいなど、村の中で自然にできるのは貴重であり、都内からすると喉から手が出るほど欲しいものである。それらご家族の介護、血縁やコミュニティーが担っているものを否定はしないが、今ある良さを活かしつつ、プラスして社会的介護の仕組みを村でも構築すべきと考えるが、村長のお考えは。

【回答】村長

仰ることはよく理解する。血縁でのケアを望んでいるのではなく、今の状況では血縁のケアに頼らざるを得ないのが事実。少しでも改善していくように、工夫していけるようなことがあれば社協の方たちとも相談していきたい。しかし、マンパワーの部分が大きく、住宅の問題もあるので、まだできていない状態。

## ◎福祉の相談受付体制と住民への周知

【質問】 社協にて相談事を聞く体制があるが、それがもしなくなった場合、どこへ相談したら良いか心配の声があるが社協と話されているか。内地では福祉の相談窓口の一つである地域包括支援センターが役所と別にある。御蔵では役場内にあるが住民には全然分からない。

地域包括支援センターを住民に広く周知し、どういった福祉サービスがあるのかなど、告知するお考えはないか。

【回答】村長

現状の周知、相談受付体制がきちんとできているとは思っていない。職員も増え、今後色々な制度等を勉強してもらい、皆で話し合いながら少しでも充実できるようにしていけると思う。

## ◎新庁舎等複合施設の説明会の報告と周知

【質問】 説明会の実施は大事であり、本来実施は当然だが、御蔵ではあまりなかったことだと思うので評価している。内容について不参加の住民も知りたく、議員が発信すべきことでもあるが、行政としてどのように内容の周知をされる予定か。また、当日村内放送があったのか。

【回答】総務課長

広報などで説明会の概要について周知を図っていききたい。

放送は多くの方の参加を促すため、前日 17 時と当日朝 8 時に行った。

【質問】 説明会にて計画は一旦止めて令和 11 年に再開、また検討を行うというようなお話だったが、明確に公の場でお伺いしたい。また、追加の情報はないか。

【回答】村長

当初の計画より事業費の拡大が3倍、4倍という形が見えてきてしまっている。今手をつけてしまうと、村の他の事業に関する影響が計り知れない。今の時点で具体的に言える計画はなく、基金を積み上げながら、流動的になってしまうが何年かしてから住民の皆様には改めてお伝えする。

### ◎インフルエンザ・新型コロナウイルスなど感染症対策について

【質問】 今年、村内でも新型コロナウイルスの感染があり学級閉鎖もあった。感染症が流行ったら、村から知らせてほしいという声を住民から頂戴している。感染症対策として、村内放送などで注意喚起をする予定はあるか。

【回答】総務課長

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、医療機関からの感染者数等の情報が任意となり、移行前のような情報は入ってこない。現在は、教育委員会などから感染情報を認識しており、確認した情報を精査しこれまでと同様となるが、必要に応じて村内放送などによる注意喚起は行ってまいりたい。

【質問】 現在のコロナワクチン接種は任意だと大変高額。あくまで希望者対象だが、接種料の負担軽減が必要と考えるがそのお考えはないか。

【回答】村長

コロナウイルスのワクチン接種については、国の姿勢を検討して、こちらも来年実際どうなのか、検討してみたい。

◆黒田 正道 議員

### ◎ワクチン接種について

【質問】 村は様々なワクチンの接種を実施していますが、住民の費用負担は年齢等によりまちまちで、先月の新型コロナウイルスワクチンの接種は、65歳以上は2,500円(条件により60~64歳も含む)、それ以外の方は16,000円でした。高齢者等は重症化のリスクがあるための判断だと思えますが、高齢者等以外の方にはあまりにも高すぎて接種を控えた方が多くいたようです。全てのワクチンの接種については副反応等の問題があり任意での接種ですが、費用の問題で接種を希望される方が接種を控えることは残念です。ワクチン接種は感染症の予防には効果的で、住民の健康維持はもとより医療費の抑制につながります。

全てのワクチン接種を無料もしくは安価にすべきだと考えますが、村長はどう思われますか。

【回答】村長

他の自治体や国などの指針等を検討して、それが本当に必要か、どこまで援助できるか検討し3月までには示したい。

◎補聴器の助成について

【質問】 本年の第2回定例会で、村長から補聴器の助成について実施する方向で検討するとのお答えを得ています。検討の結果、来年度の予算に反映するのかお聞かせください。

【回答】村長

他の自治体で行われている助成の多くは、一人1回上限5万円で他の助成と併用しないとなっているが、本村もそのような形で、来年度の当初予算に要綱と共に反映させる。

【質問】 もっと手厚い助成をしている自治体もある、離島と言うハンディキャップもあり購入後のメンテナンスに費用がかかります。手厚く助成している自治体も参考にして、いい方向で実施していただきたい。

◆広瀬 旭治 議員

◎令和6年度事業の進捗について

【質問】 当初予算で計上した事業についてそれぞれご説明願いたい。

(※見やすさと紙面の関係から表にして掲載いたします)

事業名	当初予算	回答者	内容(予算執行状況)
1.新庁舎整備基本計画	44,000千円	総務課長	契約額 44,000千円。
2.民間宿泊施設借り上げ	15,360千円	村長	6月議会にて減額補正。0円。
3.遊休家屋活用	480千円	村長	6月議会にて減額補正。0円。
4.遊休地活用	1,440千円	村長	6月議会にて減額補正。0円。
5.スマートビレッジ構想			
電動スクーター購入	2,200千円	副村長	島内民間事業者がレンタルバイク事業実施予定の情報があり、村は実施しない。
住宅基本設計	23,760千円	副村長	移住定住促進住宅。契約額 23,551千円。
1号棟解体	36,415千円	副村長	6月議会にて 30,000千円追加。契約手続き中。
土砂災害検知	9,460千円	副村長	契約額 9,460千円。開発総合センター南側斜面に4か所設置済み。8月より運用。
6.地域共創構築	44,762千円	副村長	契約額 41,765千円。 別途村主体で酒類製造委託の契約手続き中。
7.新焼却場			
設計	32,000千円	総務課長	契約額 25,960千円。
地質調査	15,667千円	総務課長	契約額 15,554千円。
8.起業・事業拡大支援補助	18,000千円	副村長	交付決定額 12,000千円。
9.無電柱化(測量)	31,900千円	産業課長	契約額 15,290千円。(6路線)
10.いなさ地区残土処分	9,971千円	産業課長	計画中。
11.たりぼう住宅法面防護	179,000千円	産業課長	契約額 178,785千円。
12.住宅建築補助	6,000千円	総務課長	6月議会にて減額補正。0円。
13.校舎改修	75,000千円	総務課長	契約額 49,060千円。
14.DVD作成	3,592千円	産業課長	契約額 3,591千円。

【質問】 いなさ地区残土処分場について、村は産廃業者の資格を取ろうとする考えはありますか。

【回答】村長

法令に違反しないような形で実施検討中。

【質問】 多くの事業で予算計上金額と契約金額にほとんど差金がなく、不自然である。例えば、事前にどこかの業者を指定して数字をいただいているなど、見積もりや契約事務に問題はないのか。

【回答】副村長

複数の業者から下見積もりというような形でいただき、過去の事例や公共施設工事の単価基準表などと照らし合わせながら積算している。

#### ◎庁舎管理について

【質問】 東京都町村において、夜間の無人管理は青ヶ島のみで他は行われていない。行政事務執行管理、施設管理上無人化はやってはならない。

【回答】副村長

村は、行政サービスの持続的な提供を目的として宿直を見直し、その機能を補完するものとして夜間機械警備を導入した。現在の夜間の体制としては、案件ごとに4人の担当を配置し、警備会社から連絡を取次ぎ次第、速やかに業務に対応できる仕組みを整えている。また、台風対応など臨時かつ緊急に必要な場合は、従来通り宿直を置くこととしている。

#### ◎新庁舎等複合施設について

【質問】 計画の全容について40億円とのこと如何なものか。報道では今後10年間で150%もの建設費上昇とのこと。10年後着手して60億円では、村は財政破綻の金額である。

【回答】村長

現状では建設は極めて困難であります。今の計画を何が何でもということは考えておらず、基金を積みながら検討していかなければならない。

【回答】総務課長

村では庁舎建設基金を1億円ずつ積み立てています。それ以上の余剰金をどこまで積み上げることができるのか、検討事項だと考えている。

◆西川 理恵 議員

#### ◎保健師の派遣体制について

【質問】 本村の保健師配置状況について、複数の保健師が月3日間、2人ずつ交代で来島し、実質稼働日数は2日間程度となっている。その結果、住民が保健師に相談できないケースや、妊婦訪問や新生児訪問などの必須事業が実施されていない状況があり、乳幼児健診や要介護認定における保健師対応に関する住民の不満も寄せられたりしている。これに対し、現行の派遣体制を維持するのか、改善する予定があるのか、村の方針を伺いたい。

【回答】総務課長

村としては保健師の常駐が理想的だが、人材や住居の課題があり実現は困難。住民のニーズと合致していないとの指摘を受け、住民の意見を取り入れながら協議を進め、業務の改善に努めたいと考えている。

【質問】 保健師の支援が必要な住民は多岐にわたり、妊産婦や子育て中の保護者、療育が必要な子ども、高齢者などが該当する。保健師が地域住民に密着した支援を提供することが理想だが、人材不足が深刻なのも理解している。そのため、オンライン相談窓口の活用や既存のリソースを利用した代替的な支援体制を整えるなど、住民が気軽に相談できる環境を整備するのはどうか。

【回答】村長

現状でもできることを検討していきたい。

◎内地医療機関通院への助成について

【質問】 御蔵島診療所では対応できない疾患のため、内地医療機関を定期的に受診する住民が多い一方、現行の条例での交通費助成制度では対象者が限られている。東京都の他の島嶼地域では広範な助成が行われていることを踏まえ、本村でも助成対象者を拡大する考えがあるか伺いたい。

【回答】村長

本村ではヘリコプターによる交通費の助成が既に行われており、さらなる助成の効果については疑問がある。一方で、利島村などでは滞在費への助成が行われており、本村でも滞在費助成について検討する余地があると思う。

◎新庁舎等複合施設整備実施計画について

【質問】 12月1日の説明会での住民参加プロセスは評価するが、役場庁舎の建て替え計画に関し、当初は現在の敷地での建て替えを望む意見が多数だったとされる。その後、中町への移転と複合施設化の案が採用され進められることになった理由や、意見が逆転した時点や割合が具体的に分かれば教えていただきたい。

【回答】総務課長

複合施設となった理由は、本村における公共施設の老朽化の時期が重なっているため、建て替えコストの縮減が図れることがあげられる。これまでに行われた3回のオープンハウスで住民から多数の意見が寄せられ、その中で希望が多かった施設が今の計画に反映されている。

【質問】 オープンハウスには自分も参加したが、そこでの住民意見収集について、参加者は財政状況等を考慮せずに「欲しい」と回答した可能性も否めなく、その意見を全て複合施設に反映させるのは適切なのか疑問があるが、村はどのように認識しているか。

【回答】総務課長

アンケートやオープンハウスで、多くの住民が望んだ施設を優先的に計画に反映している。

【質問】 計画の延期について、延期の間も公共施設の老朽化は進み、価格高騰も続くことが考えられるが、具体的な延期期間はどのくらいか。また、検討再開時には住民の年齢構成等、村の状況が変化する可能性があるため、再度住民の要望をヒアリングする予定はあるのか。

## 【回答】村長

計画が流動的であるため、実施に向けて進める際には再度住民の意見を伺う予定であり、その時点での状況変化を考慮する。また、事業を早めることで負担軽減が期待されるものの、現状では実施に踏み切れないため延期を決定した。

## ◎村内放送について

【質問】 防災行政無線の設置が令和 7 年度中に完了予定であることは評価するところだが、新設備が整うまでの間の緊急情報を周知する代替案は考えられているか。特に、9 月 24 日の津波注意報発表時に、放送が全く聞こえなかった地域があった。緊急時の情報周知が不十分では、住民の安全が確保できないことを懸念しており、緊急時にはハンドスピーカーでの周知や車での巡回などを活用すべきではないか。

## 【回答】総務課長

来年度事業完了までの間、放送が聞きづらいなどの声をいただいた場合には、現状確認や修理等の対応を行っていく。また、防災無線が聞こえない地域や故障が発生している場合、緊急時には消防団に協力を要請し、消防車や拡声機を活用して村内で情報周知を行う考えである。

## ◎住民への情報周知について

【質問】 御蔵島では、基本的な生活情報(ごみの出し方、届出方法、助成制度など)が人伝えでしか得られない状況があり、新住民が必要な情報にアクセスできず困る例があると指摘されている。このような情報を村のホームページに掲載する、または「暮らし方ガイド」のような冊子を作成する計画はあるか。

## 【回答】総務課長

ごみの分け方・出し方は既に村のホームページで確認できるようになっている。ヘリコプター運賃助成については、以前はチラシで周知していたが、現在は窓口で案内している。今後、ヘリコプター運賃助成の情報をホームページに掲載することも検討する。

【質問】 ホームページに生活情報や各種届出の様式を掲載し、ダウンロードできるようにすることで、住民の利便性が向上し、役場への問い合わせも減り、双方の負担が軽減されるのではないかと。他自治体(例:利島村)のように「くらし・手続き」の情報コーナーを設置することについて、御蔵島でもホームページの改修を含めた取組を検討する考えはあるか。

## 【回答】総務課長

ホームページに上げられる情報も内部で検討して、できる対応を行っていきたい。

## ◎御蔵の源水について

【質問】 源水の製造販売が再開されたが、産業センターを見学した際に機械や施設の老朽化を感じた。今後、機械の大幅な入替えや設備改修を行わずに事業を継続できるのか、村の見解を伺いたい。

## 【回答】産業課長

源水の製造ラインの経年劣化や製造業者の廃業により、メンテナンスが難しくなっている現状がある。令和 7 年度に予算を計上し、製造ラインの見直しや施設設計を行い、令和 8 年度に施設整備を進める計画であり、不要な機材を処分し、適切な規模の施設に再構築する予定。工事期間中も可能な限り夏季に製造し、冬季に工事を行う方針。

## ◎主権者教育について

【質問】平成28年度に選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、本村の子どもたちは15歳で島を離れることから、議会傍聴体験や模擬議会の実施を、村独自の長期的なカリキュラムとして主権者教育を行うことはできないか。

【回答】教育長

現在、主権者教育としては、生徒会や児童会選挙で投票箱や記載台を利用する程度の実施を行っているが、議会制度などの理解を深めるには、学校の授業や放課後の時間を活用した取組が必要と認識している。傍聴体験や議員による出前授業のほか、土曜日に保護者を含めた活動を村が主体となって開催する可能性も検討しており、学校と協力して取り組む意向である。

◆栗本道雄 議員

## ◎報酬審議会について

【質問】村長は就任後に特別職の報酬見直しを考えていると発言しているが、年度内での報酬見直しは基本的に考えられない。来年度以降に実施する場合は、今年度内の報酬審議会の開催が不可欠である。また報酬審議会の委員については任期中なのか、新たな委員の任命が必要なのか。2点についてお答え願います。

【回答】総務課長

報酬審議会については令和6年12月25日を予定しています。委員については現在任期中ですが、転居された方もおられるので改めて委嘱する予定です。

## ◎土砂災害地域について

【質問】都が指定している土砂災害警戒区域、及び土砂災害特別警戒区域は、御蔵島の里内ではそのほとんどが該当地域である。該当地域では住宅の建て替え、修理、リフォーム等に様々な制限があり、実施する場合住民は多額の負担を強いられる現状にある。これは将来的に定住人口の減少につながる恐れが非常に高いと考える。

改正延長された離島振興法では、そういった地域の住民が建て替え等に直接国からの補助金が出るようになっているが、地元自治体が同じような補助金制度を作ることが必要ともなっている。村として将来的にそういった補助金制度を作り予算化していく考えはあるか

【回答】村長

質問の趣旨は良く理解しています。御蔵島の様な急斜面地での対応は必要で、住民が多額の資金が必要になることも理解したうえで、国の制度も調べて今後住民の負担を減らせるかどうか検討していきたいと思えます。

【質問】場合によっては多額の予算が必要になる場合がありますが、上限額、割合等々よく考えて、前向きに検討をしていただきたい。

紙面の都合上、議会だよりは文章や内容を割愛したり、要約したりして掲載しています。ぜひ議会の傍聴してみてください。

## 活動報告・令和6年10月1日～令和6年12月31日

議長 栗本道雄

- 10月 4日 総務大臣表彰式（出席）  
10月22日 東京都道路整備事業推進大会（出席）  
11月13日 町村議会議長全国大会（出席）  
11月13日 東京都島しょ町村議会議長会・臨時総会（出席）  
11月14日～15日  
東京都町村議会議長会先進地調査・北海道浦幌町（出席）  
11月19日 離島振興市町村議会議長全国大会（出席）  
12月10日 御蔵島村議会議員全員協議会（全議員・出席）  
12月13日 御蔵島村議会令和6年第4回定例会（全議員・出席）  
12月24日 離島振興関係予算対策本部合同会議（出席）  
衆参国会議員に対して。令和7年度  
離島振興関係予算対策本部 御挨拶回り（出席）

今後の定例会予定

令和7年

3月10日～ 御蔵島村議会令和7年第1回定例会 予定

備考

島内での行事等については報告していません。

議長 栗本 道雄

御蔵島村議会に関するお問い合わせ

御蔵島村役場 総務課総務係 議会事務局

〒100-1301 東京都御蔵島村字入かねが沢

TEL：04994-8-2121

FAX：04994-8-2239